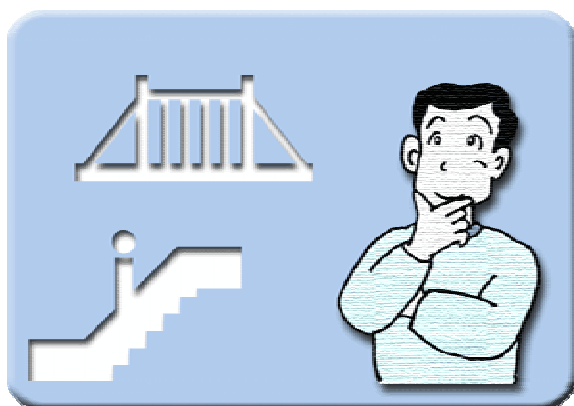


市民が市民のためにわかりやすく作った

日野市財政白書

～ご存知ですか日野市の台所事情（平成15年度決算版）～



平成17年6月
日野市健全財政を考える会

市長メッセージ

「市民が市民のためにわかりやすく作った日野市財政白書」発行にあたって

『市民がつくった日野市財政白書』ができました。

参画された市民の皆様のご努力にこころから敬意を表します。

「市の財政状況について、市民の目線で分析し、市民のことばで語ってもらう。

そんな『白書』ができないか？」

私は、常々こう思っていたところであります。

行政用語で溢れた『行政の一人相撲』という形になることを避けたいと考えたからです。

したがって、『市民と行政の協働』としながらも、行政側は資料の提供と意見の調整に留めるようにしました。

市民には分かりにくいと言われる公会計を十分に理解し、的確な分析を行った上で市民の負担についても忌憚のない提言を戴きました。

結果として、画期的な「白書」ができたのではないのでしょうか。

日野市を愛する気持ち、日野市を真剣に考えて戴いている気持ちを私どもは十分に受けとめ、よりよい行政を目指して、更に努力して参りたいと考えます。

平成17年6月

日野市長 馬場 弘融

はじめに

財政危機って本当？

「日野市は本当に財政危機なの？豊かな自治体じゃなかったの？」と思っている方も多いと思います。しかし残念ながら実態は借金が984億円（平成15年度末）に達し、ピンチに瀕しています。また、景気の低迷や高齢化社会の到来により市税収入が落ち込む一方で、今後も社会福祉や社会基盤整備の費用は、増加の傾向にあり、借金は拡大すると予測されています。

財政危機を回避するために

このようなピンチに直面している日野市の財政を回復していくには、市が行財政改革に真剣に取り組み、人件費も含めた抜本的な経費削減と、計画事業や市民サービスの見直しなどを推進し続けていくことは必要です。

しかしそれだけではなく、市民一人一人が、市の財政状況に、自分の家計と同じくらい関心を持ち、知恵を出し合い行動することが重要です。

私達「日野市健全財政を考える会」は、多くの市民の方々に日野市の財政状況を理解して頂くために、2002年5月日野市広報に「市民財政レポート」を掲載し、2003年10月に公民館で市民説明会を開催してきました。

このたび、日野市の平成15年度決算を市民の視点から分析し、この「日野市財政白書」を作成しました。この白書では、第1編の総論で「日野市財政の全体像」を説明し、第2編の各論で、まずは財政現状を紹介した上で、今後日野市の財政運営上の最重要課題となる 福祉・教育分野、インフラ整備、歳入増加施策について、その具体的な内容を解説しています。

この白書で掲げた主要課題を中心に、これから市民と行政が協力して、市の財政健全化に向け、市や市民や企業がそれぞれなにをなすべきかを議論し、行動していくことが必要になります。

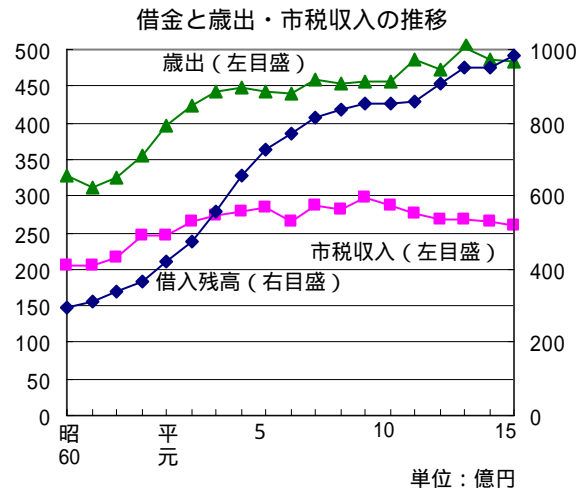
財政健全化に向けた取り組みは

財政を健全化することは、単純には「収入を増やし、支出を減らすこと」です。しかし、この健全化の究極の目標は、「市民一人一人が自立した、豊かで安全な生活環境を創ること」だと考えます。

このため、当会では、市税収入確保への取り組み（街の活性化策や企業活動支援等）、福祉や行政サービスの見直し、今後の社会基盤整備の在り方、行財政改革の推進と監査の方法、などを議論しています。

その議論の中では、例えば市民が身近でできることとして、「日野市でできるだけ買い物をしよう」、「なるべく地元企業の商品を買おう」や、「市からのサービスはタダでないこと（断る勇気）を意識しよう」、「市の行財政運営を市民の目でチェックしよう」などを市民行動計画として、具体的に推進しようと考えています。

この行動計画の作成と実行に、多くの市民の力を結集して、「日野いいプラン2010（基本構想・基本計画）」を確実に実現させ、我々の将来や子孫の未来のために、「住みいいまち、ここいいまち、いきいきのまち、日野」を創っていきましょう。



是非、多くの市民の方々が当会にご参加され、財政健全化に向けて共に行動して頂くことを切に希望しています。

当会の連絡先を、以下に記載しますので、お気軽にご連絡ください。

健全財政を考える会とは

「日野いいプラン2010(基本構想・基本計画)」を確実に実現するために作られた市民、行政協働のプロジェクトチームです。

平成17年6月

日野市健全財政を考える会

代表 菊地 修

副代表 石塚辰郎、向野 隆

連絡先:日野市企画部財政課

e-mail:zaisei@city.hino.tokyo.jp

目次

市長メッセージ.....	i
はじめに.....	ii
第1編（総論編）.....	1
第1章 日野市の財政のいまとこれから.....	3
1 私たちの生活を支える財政.....	4
目立たないところで、私たちの生活を支える重要な役割をはたしています	
2 日野市の財政が苦しいって本当？.....	5
借金多く、税収増えず、費用の増加が予想されています	
3 なぜ財政が苦しくなったのでしょうか？.....	6
インフラ整備で増えた借金、福祉のための増えた支出	
4 私たち市民はどうしたらよいのでしょうか？.....	7
一人一人が財政に関心を持ち、できることから始めることが重要	
(コラム)どうやって市のお金のことを決めてるの？.....	8
(コラム)日野市全体でのお金の流れ.....	10
第2編（各論編）.....	11
第1章 日野市の財政状況.....	13
1 収支の状況.....	14
伸びる歳出、伸び悩む市税収入	
2 歳入の状況.....	15
(1) 市税の状況.....	15
伸び悩む市税収入、個人が主な税収源	
(2) 歳入の構造.....	16
減少する自己財源（市税）割合	
3 歳出の状況.....	17
(1) 目的別歳出.....	17
民生費（主に福祉の費用）の伸びが大きい	
民生費の内訳.....	18
高齢者・障害者・子ども・生活保護など全ての面で増加	

福祉の費用の内訳.....	19
福祉の対象となる人が大きく増え、それにつれ費用もふえている	
(2) 性質別歳出.....	20
最大の割合を占める人件費。伸びる扶助費、物件費、繰出金。	
人件費.....	21
多い職員数、見直され始めた人件費	
物件費.....	22
物件費の多くは委託費、増える衛生費関係	
4 特別会計等の状況.....	23
(1) 特別会計等の財政規模.....	23
社会保険関係の伸びにより、一般会計に匹敵する財政規模に	
(2) 繰出金と病院・公社への補助.....	24
昔インフラ、今社会保険が大きい	
(3) 土地開発公社.....	25
役割の見直しが必要な土地開発公社	
5 借金の推移.....	26
増え続けてきた借金	
6 基金の推移.....	27
十分とはいえない基金残高	
7 債務負担行為の推移.....	28
区画整理関係の委託を見直して減少	
第2章 福祉・教育関連の財政負担.....	29
1 医療に関する財政負担.....	30
市民の健康維持のために日野市は大きな財政負担をしている。	
(1) 国民健康保険.....	30
(2) 市立病院.....	32
2 高齢者向けの財政負担.....	36
ますます高齢者向けの財政負担が増えている。	
(1) 老人保健.....	36
(2) 介護保険.....	38
(3) 高齢者向けサービス、施策.....	40

3	子ども向けの財政負担.....	41
	福祉・教育の両面からさまざまな支出がある。民活の視点が必要	
(1)	保育所.....	41
(2)	幼稚園.....	43
(3)	小中学校.....	45
第3章	インフラ関連の財政負担.....	47
1	公共施設の運営.....	48
	使用料の数倍の運営費用、使用料の見直しと運用経費の精査が必須	
2	学校施設の整備.....	50
	老朽化に応じて校舎を再整備中。長期的な計画が必要	
3	ゴミ処理事業.....	51
	有料化による収益の3倍以上税金を投入	
4	区画整理事業.....	52
	多額の事業経費がかかるが、国・都からの補助金を中心に実施中。	
5	下水道事業.....	54
	下水道の運営には、使用料の収入の3倍の経費がかかる。不足分は税金と市債で補填。	
第4章	歳入増加策について.....	57
1	市税や国民健康保険税等の納税推進.....	58
	一人一人が滞納しないことが健全財政の第一歩	
2	経済活性化と歳入増加.....	60
	財政健全化のためのもうひとつの鍵は歳入の増加	
(1)	買い物の効果.....	60
(2)	その他の増収策.....	61
	用語集.....	62
	おわりに.....	66